

平成24年版

子育て文化創造白書

山 口 県

子育て文化創造白書の刊行に当たって

近年、少子化の進行や核家族化、地域のつながりの希薄化など、子どもや子育て家庭を取り巻く環境は、大きく変化しています。これに伴い、子育てに不安や孤立感を覚える家庭も多いとされており、地域を挙げて、子ども・子育て家庭への支援を強化する必要があります。



このため、県では、平成19年10月に制定した「子育て文化創造条例」及び平成22年10月に改定した「やまぐち子どもきららプラン21」に基づき、山口県らしい「子育て文化の創造」を目指して、家庭、学校、職場、地域など社会全体で子どもや子育て家庭を支える環境づくりを進めてきたところです。

また、国においては、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園の改善など、新たな子育て支援制度の構築が進められています。

私は、子どもや子育て家庭を取り巻く環境が厳しい中であって、「子育て環境日本一」の県づくりの実現を目指し、やまぐち型子育てスタイルの確立など、子育て支援・少子化対策を着実に進め、県民の皆様へ、「山口県で子どもを産み、育てて本当によかった」と、心から実感していただくとともに、子どもたちが夢と希望を持ちながら健やかに育つ地域社会づくりを推進していきたいと考えております。

この白書は、「子育て文化創造条例」に基づく年次報告であり、本県における子どもと家庭を取り巻く現状や平成23年度に県が取り組んだ施策、平成24年度に取り組もうとする施策などを取りまとめています。

本書を通じて、より多くの県民の皆様へ、本県の子育て支援・少子化対策について、理解と関心を深めていただき、安心して子どもを産み育てることができる社会の実現に向けた取組の一助となれば幸いです。

平成24年10月

山口県知事 山本繁太郎